



# 東京園芸ニュース (28年度-99号)

平成29年2月 / 群馬県東京園芸情報センター

## キウイフルーツと八朔を紹介 大田市場でJA紀の里産フルーツをPR!

和歌山県JA紀の里キウイフルーツ&中晩柑のトップセールス

- 期間：2月10日(金)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：JA紀の里
- 内容：JA紀の里産のキウイフルーツと八朔等の紹介と試食宣伝等

### 和歌山県都中央入荷量のキウイは2位、八朔は1位!

JA紀の里のキウイフルーツと中晩柑が出荷のピークを迎えることから、トップセールスが開催されました。中晩柑とは1～5月頃に収穫される温州みかん以外のかんきつ類の総称で、八朔やデコボンなどです。

H28年キウイフルーツの都中央入荷量は、ニュージーランドがダントツに多いですが、国産では和歌山県が2位(群馬県は国産で8位)で、13%を占めています。また、八朔は和歌山県が都中央入荷量の83%(H28年)を占めています。

当日は、キウイフルーツと八朔が市場関係者に試食提供され、八朔を食べやすくする簡単なカット方法も披露されました。

JA紀の里のキウイフルーツは、夏の干ばつとその後の多雨で棚持ちがやや心配されていますが、収量はほぼ前年並で、品質は良いとのこと。今年の糖度は12～13度となっていますが、糖度13.5度以上に与えられる和歌山県のプレミアムキウイフルーツ「熟姫(うれひめ)」の割合は前年より少ないとのこと。

### 「紀の川ふるふる娘」もPR!

当日は、紀の川市の中村市長やJA紀の里の山田組合長を始め、JA紀の川市環境協会のフルーツキャラクターで6種類の果物をモチーフとした「紀の川ふるふる娘」の中から、八朔の「さくぷる」とキウイの「きうぷる」も応援にかけつけて盛大にトップセールスが行われました。JA紀の里のラッピングカーも、和歌山県から8時間かけて到着したとのこと。

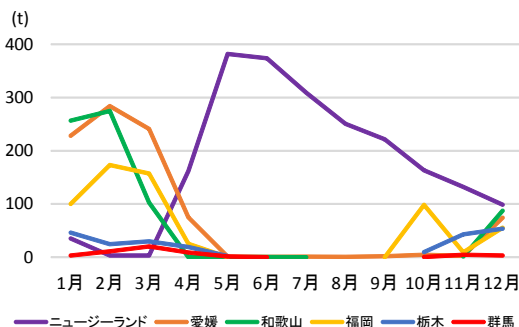
中村市長からは、「紀の川市の八朔は全国1位、キウイも上位に入る生産量を誇っています。若手後継者も増えてきて産地も盛り上がっているので今後ともよろしくお願いします。」との挨拶がありました。



JA紀の里ラッピングカーの様子



キウイフルーツと八朔の試食宣伝の様子



H28キウイフルーツの月別・産地別都中央入荷量



紀の川市観光協会フルーツキャラクター  
八朔のさくぷる(左)とキウイのきうぷる(右)